

令和 4 年度決算説明資料

目次

I 令和 4 年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要	1P
(2) 収支の推移	2P
① 概要	2P
② 令和 3 年度決算との比較（病院別）	3P

II 令和 4 年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

1 資産・負債・純資産の状況	7P
2 施設整備・医療機器等購入について	8P
3 安佐市民病院の建替えについて	9P
4 企業債（移行前地方債償還債務）・長期借入金の状況	9P
5 留保資金の状況	9P

資料編

1 各年度決算比較

(1) 収支の状況	11P
(2) 収入の状況	12P
(3) 支出の状況	17P

I 令和4年度収支決算について

1 収支の状況

(1) 収支の概要

令和4年度収支決算は、収入合計633.1億円に対し、支出合計は644.7億円で、差引損益は▲11.6億円の赤字となった。

これにより、繰越利益剰余金が36.7億円から、25.1億円となった。

(表1) 令和4年度収支決算

単位: 億円

区 分		合 計 一般 1,369床 精神 48床 感染症 16床 計 1,433床	病 院 別			
			広島市民病院 一般 715床 精神 28床 計 743床	北部医療センター 安佐市民病院 一般 414床 精神 20床 計 434床	舟入市民病院 一般 140床 感染症 16床 計 156床	リハビリテーション病院 一般 100床 自立訓練施設 定員 60名
収 入	入院収入	366.1	208.7	125.2	16.6	15.6
	外来収入	173.7	107.8	51.7	13.4	0.8
	計	539.8	316.5	176.9	30.0	16.4
	その他	8.8	5.2	2.5	0.8	0.3
	小 計	548.6	321.7	179.4	30.8	16.7
	運営費負担金・交付金	49.0	16.1	13.8	11.0	8.1
	その他収入	35.5	13.2	9.2	11.6	1.5
	合 計	633.1	351.0	202.4	53.4	26.3
支 出	給与費	302.2	159.5	99.5	23.8	19.4
	材料費	189.5	121.1	60.5	7.3	0.6
	経費	90.6	42.0	33.1	10.2	5.3
	減価償却費	45.0	19.5	21.4	2.3	1.8
	その他	17.4	4.1	11.7	1.1	0.5
	合 計	644.7	346.2	226.2	44.7	27.6
差引損益		▲ 11.6	4.8	▲ 23.8	8.7	▲ 1.3

※1 本部事務局分は、安佐市民病院整備室に係る支出を除き、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分している。

(按分比広島51.1%、安佐25.9%、舟入12.4%、リハ10.6%)

※2 北部医療センター安佐市民病院は、令和4年5月1日開院。

令和4年4月30日までは病院名 安佐市民病院、病床数 一般527床
以降の資料では、「安佐市民病院」又は「安佐」と表記している。

(2) 収支の推移

① 概要

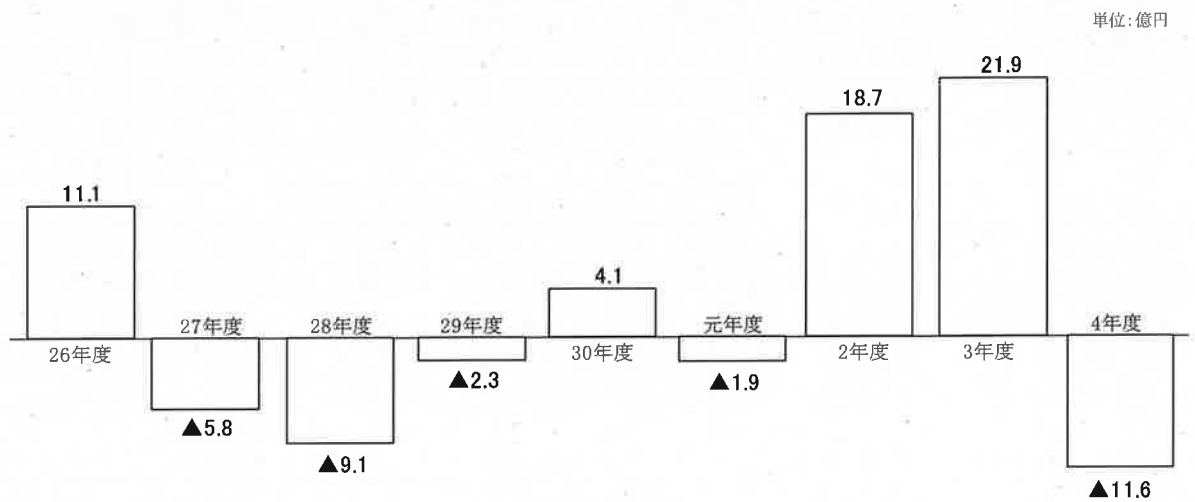
法人化初年度の平成 26 年度は黒字であったが、その後収支が悪化したため、職員一丸となって経営改善に取り組んだ結果、収支改善が図られ、30 年度は 4.1 億円の黒字を計上した。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により入院・外来患者数が減少し、元年度は▲1.9 億円の赤字となった。このため、一層の経費節減や収入増に取り組んだことに加え、新型コロナウイルス感染症に積極的に対応したことによる補助金収入もあって、2 年度 3 年度は黒字に転換した。

4 年度の収支状況は、診療単価の増などにより入院・外来収入が 15.2 億円増加し、新型コロナウイルス感染症に係る補助金等が▲11.7 億円減少したが、収入合計は前年度に比べ 3.5 億円増加した。一方、支出については、材料費が入院・外来収入の増に伴い 7.1 億円増加し、安佐市民病院の移転に伴う費用の増加等により経費支出が 13.1 億円増加したことから、前年度に比べ 37 億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ 33.5 億円減少し、▲11.6 億円の赤字となった。

(図 1) 4 病院の損益の推移



(表 2) 病院別内訳

単位: 億円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	5.6	▲4.3	▲5.3	▲4.2	0.7	▲3.2	3.7	7.1	4.8
安佐市民病院	5.8	0.0	▲3.7	1.0	2.6	1.6	10.5	5.7	▲23.8
舟入市民病院	1.0	0.0	1.5	1.4	1.6	1.0	5.5	10.6	8.7
リハビリテーション病院	▲1.3	▲1.5	▲1.6	▲0.5	▲0.8	▲1.3	▲1.0	▲1.5	▲1.3
計	11.1	▲5.8	▲9.1	▲2.3	4.1	▲1.9	18.7	21.9	▲11.6

② 令和3年度決算との比較（病院別）

(7) 広島市民病院

収入については、入院収入が手術件数の増などによる診療単価の増により3.1億円増加し、外来収入が投薬注射の増などによる診療単価の増により6億円増加した。また、運営費負担金・交付金は救急医療などにおいて▲3.3億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ4.1億円増加した。

一方、支出については、材料費が抗がん剤の増などにより4.9億円増加し、経費が電気使用料単価の増などによる光熱水費などの増により2.7億円増加した。また、減価償却費は高精度放射線治療システムの償却期間終了などにより▲2.1億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ6.4億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ▲2.3億円減少したものの、4.8億円の黒字となった。

(表3) 収支の推移

単位:億円

区分		元年度	2年度	3年度	4年度
収 入	入院収入	211.9	199.7	205.6	208.7
	対前年度増減	-	▲12.2	5.9	3.1
	外来収入	103.2	96.9	101.8	107.8
	対前年度増減	-	▲6.3	4.9	6.0
	小計	315.1	296.6	307.4	316.5
	対前年度増減	-	▲18.5	10.8	9.1
	その他	6.5	6.0	5.6	5.2
	対前年度増減	-	▲0.5	▲0.4	▲0.4
	計	321.6	302.6	313.0	321.7
	運営費負担金・交付金	18.6	23.7	19.4	16.1
	対前年度増減	-	5.1	▲4.3	▲3.3
	その他収入	3.7	10.6	14.5	13.2
対前年度増減	-	6.9	3.9	▲1.3	
合計	343.9	336.9	346.9	351.0	
対前年度増減	-	▲7.0	10.0	4.1	
支 出	給与費	161.5	157.8	158.3	159.5
	対前年度増減	-	▲3.7	0.5	1.2
	材料費	116.4	109.7	116.2	121.1
	対前年度増減	-	▲6.7	6.5	4.9
	経費	38.2	37.5	39.3	42.0
	対前年度増減	-	▲0.7	1.8	2.7
	減価償却費	25.5	23.6	21.6	19.5
	対前年度増減	-	▲1.9	▲2.0	▲2.1
	その他	5.5	4.6	4.4	4.1
	対前年度増減	-	▲0.9	▲0.2	▲0.3
合計	347.1	333.2	339.8	346.2	
対前年度増減	-	▲13.9	6.6	6.4	
差引損益	▲3.2	3.7	7.1	4.8	
対前年度増減	-	6.9	3.4	▲2.3	

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(4) 安佐市民病院

収入については、入院収入は平均在院日数の短縮などによる診療単価の増などにより4.4億円増加し、外来収入は外来患者数の減などにより▲1.5億円減少した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の減などにより▲11.2億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ▲1.3億円減少した。

一方、支出については、給与費は職員数の増などにより5.3億円増加し、経費は新病院移転に係る引越業務などが発生したことにより9.2億円増加した。また、その他支出は旧病院の解体費用などにより9.6億円増加した。これらから、支出合計は前年度に比べ28.2億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ▲29.5億円減少し、▲23.8億円の赤字となった。

(表4) 収支の推移

単位:億円

区分		元年度	2年度	3年度	4年度
収入	入院収入	123.7	116.6	120.8	125.2
	対前年度増減	-	▲7.1	4.2	4.4
	外来収入	50.3	49.1	53.2	51.7
	対前年度増減	-	▲1.2	4.1	▲1.5
	小計	174.0	165.7	174.0	176.9
	対前年度増減	-	▲8.3	8.3	2.9
	その他	2.1	1.8	2.1	2.5
	対前年度増減	-	▲0.3	0.3	0.4
	計	176.1	167.5	176.1	179.4
	運営費負担金・交付金	6.9	6.4	7.2	13.8
	対前年度増減	-	▲0.5	0.8	6.6
	その他収入	1.9	18.5	20.4	9.2
	対前年度増減	-	16.6	1.9	▲11.2
	合計	184.9	192.4	203.7	202.4
対前年度増減	-	7.5	11.3	▲1.3	
支出	給与費	94.1	94.7	94.2	99.5
	対前年度増減	-	0.6	▲0.5	5.3
	材料費	55.7	55.8	59.9	60.5
	対前年度増減	-	0.1	4.1	0.6
	経費	21.4	21.2	23.9	33.1
	対前年度増減	-	▲0.2	2.7	9.2
	減価償却費	11.2	9.3	17.9	21.4
	対前年度増減	-	▲1.9	8.6	3.5
	その他	0.9	0.9	2.1	11.7
	対前年度増減	-	0.0	1.2	9.6
合計	183.3	181.9	198.0	226.2	
対前年度増減	-	▲1.4	16.1	28.2	
差引損益		1.6	10.5	5.7	▲23.8
対前年度増減		-	8.9	▲4.8	▲29.5

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(ウ) 舟入市民病院

収入については、入院収入は患者数の増などにより0.1億円増加し、外来収入は発熱外来患者数の増などにより3.3億円増加した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の減などにより▲3.2億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ▲0.1億円減少した。

一方、支出については、給与費は職員数の減などにより▲0.3億円減少し、材料費は医業収益の増などにより1.5億円増加した。また、経費は電気使用料単価の増などによる光熱水費などの増により0.8億円増加した。これらから、支出合計は前年度に比べ1.8億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ▲1.9億円減少したものの、8.7億円の黒字となった。

(表5) 収支の推移

単位:億円

区分		元年度	2年度	3年度	4年度
収 入	入院収入	15.9	12.6	16.5	16.6
	対前年度増減	-	▲3.3	3.9	0.1
	外来収入	11.9	7.2	10.1	13.4
	対前年度増減	-	▲4.7	2.9	3.3
	小計	27.8	19.8	26.6	30.0
	対前年度増減	-	▲8.0	6.8	3.4
	その他	2.2	1.4	0.9	0.8
	対前年度増減	-	▲0.8	▲0.5	▲0.1
	計	30.0	21.2	27.5	30.8
	運営費負担金・交付金	13.3	8.4	11.2	11.0
	対前年度増減	-	▲4.9	2.8	▲0.2
	その他収入	1.0	18.1	14.8	11.6
	対前年度増減	-	17.1	▲3.3	▲3.2
合計	44.3	47.7	53.5	53.4	
対前年度増減	-	3.4	5.8	▲0.1	
支 出	給与費	24.7	24.6	24.1	23.8
	対前年度増減	-	▲0.1	▲0.5	▲0.3
	材料費	5.3	5.0	5.8	7.3
	対前年度増減	-	▲0.3	0.8	1.5
	経費	8.7	8.6	9.4	10.2
	対前年度増減	-	▲0.1	0.8	0.8
	減価償却費	3.7	3.2	2.5	2.3
	対前年度増減	-	▲0.5	▲0.7	▲0.2
	その他	0.9	0.8	1.1	1.1
	対前年度増減	-	▲0.1	0.3	0.0
合計	43.3	42.2	42.9	44.7	
対前年度増減	-	▲1.1	0.7	1.8	
差引損益		1.0	5.5	10.6	8.7
対前年度増減		-	4.5	5.1	▲1.9

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(エ) リハビリテーション病院・自立訓練施設

収入については、入院収入は患者数の減などにより▲0.2億円減少し、その他収入は利用者の増による自立訓練施設収益の増などにより0.2億円増加した。また、運営費負担金・交付金は特殊医療（リハビリテーション）などにおいて0.9億円増加した。これらから、収入合計は前年度に比べ0.8億円増加した。

一方、支出については、給与費は医師数の増などにより0.6億円増加し、経費は電気使用料単価の増などによる光熱水費などの増により0.4億円増加した。また、減価償却費は検体検査システムの償却期間終了などにより▲0.4億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ0.6億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ0.2億円増加したものの、▲1.3億円の赤字となった。

(表6) 収支の推移

区分		元年度	2年度	3年度	4年度
収入	入院収入	15.9	14.9	15.8	15.6
	対前年度増減	-	▲1.0	0.9	▲0.2
	外来収入	0.9	0.8	0.8	0.8
	対前年度増減	-	▲0.1	0.0	0.0
	小計	16.8	15.7	16.6	16.4
	対前年度増減	-	▲1.1	0.9	▲0.2
	その他	0.3	0.2	0.4	0.3
	対前年度増減	-	▲0.1	0.2	▲0.1
	計	17.1	15.9	17.0	16.7
	運営費負担金・交付金	6.9	8.0	7.2	8.1
対前年度増減	-	1.1	▲0.8	0.9	
その他収入	1.3	1.2	1.3	1.5	
対前年度増減	-	▲0.1	0.1	0.2	
合計	25.3	25.1	25.5	26.3	
対前年度増減	-	▲0.2	0.4	0.8	
支出	給与費	18.5	18.2	18.8	19.4
	対前年度増減	-	▲0.3	0.6	0.6
	材料費	0.4	0.5	0.5	0.6
	対前年度増減	-	0.1	0.0	0.1
	経費	4.9	4.7	4.9	5.3
	対前年度増減	-	▲0.2	0.2	0.4
	減価償却費	2.2	2.2	2.2	1.8
	対前年度増減	-	0.0	0.0	▲0.4
その他	0.6	0.5	0.6	0.5	
対前年度増減	-	▲0.1	0.1	▲0.1	
合計	26.6	26.1	27.0	27.6	
対前年度増減	-	▲0.5	0.9	0.6	
差引損益		▲1.3	▲1.0	▲1.5	▲1.3
対前年度増減		-	0.3	▲0.5	0.2

※「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

II 令和4年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

1 資産・負債・純資産の状況

(1) 固定資産

安佐市民病院の建替えに係る整備費などにより301.5億円増加し、減価償却等により▲256.9億円減少したことから44.8億円増の753.3億円となった。

(2) 流動資産

安佐市民病院の建替えに係る整備費の支払いを行ったことなどにより現金預金が▲28.1億円、医業未収金などが8.9億円増加し、全体としては▲18.3億円減の300.5億円となった。

(3) 固定負債

施設整備、医療機器購入や安佐市民病院の建替えに係る整備費の財源として、広島市から長期借入金を借り入れ76.7億円増加し、移行前地方債の償還などにより▲29.6億円減少したことから、全体としては48.5億円増の706億円となった。

(4) 流動負債

安佐市民病院の建替えに係る整備費の長期借入金の増加などにより1.3億円増の133.9億円となった。

(5) 資本金

安佐市民病院の建替えに係る不要財産に係る部分として▲12.5億円減の181.4億円となった。

(6) 資本剰余金

リハビリテーション病院の土地に対する移行前地方債の償還にかかる広島市からの運営費負担金などにより0.8億円を計上し7.4億円となった。

(7) 利益剰余金

前中期目標期間繰越積立金36.7億円から、当期未処理損失として収支決算の赤字額▲11.6億円を取り崩して25.1億円となった。

(表7) 貸借対照表(全体)

区 分		3年度末残高 A	4年度末残高 B	増 ▲ 減 B-A
資 産				
固 定 資 産		708.5	<u>753.3</u>	<u>44.8</u>
流 動 資 産		318.8	<u>300.5</u>	<u>▲ 18.3</u>
現 金 預 金		206.5	178.4	<u>▲ 28.1</u>
未 収 金		109.7	118.6	<u>8.9</u>
そ の 他		2.6	3.5	<u>0.9</u>
合 計		1,027.3	1,053.8	26.5
負 債				
固 定 負 債		657.5	<u>706.0</u>	<u>48.5</u>
流 動 負 債		132.6	<u>133.9</u>	<u>1.3</u>
未 払 金		83.6	79.6	<u>▲ 4.0</u>
そ の 他 流 動 負 債		49.0	54.3	<u>5.3</u>
計		790.1	839.9	49.8
純 資 産				
資 本 金		193.9	<u>181.4</u>	<u>▲ 12.5</u>
設 立 団 体 出 資 金		193.9	181.4	<u>▲ 12.5</u>
資 本 剰 余 金		6.6	<u>7.4</u>	<u>0.8</u>
利 益 剰 余 金		<u>36.7</u>	<u>25.1</u>	<u>▲ 11.6</u>
計		237.2	213.9	<u>▲ 23.3</u>
合 計		1,027.3	1,053.8	26.5

2 施設整備・医療機器等購入について

(1) 概要

安佐市民病院の建替えに係る整備費を除き、施設整備・医療機器等購入は、中期計画で令和4～令和7年度の4か年の事業費総額124.2億円を定め、その範囲内で必要な整備を行うこととしている。

4年度の事業費は、予算の61.4億円に対し、決算は43.1億円となったが、工期・納期が令和5年度に及ぶため、翌年度へ事業費を繰越した15.6億円と合わせた合計事業費は、58.7億円で、執行残は2.7億円である。

(2) 施設整備

施設整備は、広島市民病院が西棟7階無菌室改修工事外2.9億円、舟入市民病院が本館7階サーバ室改修工事外0.2億円の合計3.1億円を実施した。

(3) 医療機器等購入

医療機器等は、広島市民病院が内視鏡下手術用支援ロボット外12.1億円、安佐市民病院が人事給与システム0.2億円、舟入市民病院が画像保存通信システム外2.7億円、リハビリテーション病院がモジュラー車椅子外0.2億円の合計15.2億円を購入した。

(表8) 令和4年度施設整備・医療機器等購入の内訳

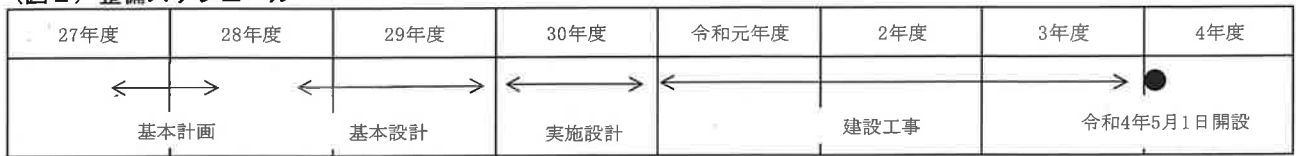
単位:億円

区分	4年度予算 ①	4年度決算 ②	5年度への 繰越③	合計 ④(②+③)	差引 ①-④	主な整備内容	
広島市民病院	施設整備	8.5	2.9	4.2	7.1	1.4	西棟7階無菌室改修工事外
	医療機器等購入	22.1	12.1	9.7	21.8	0.3	内視鏡下手術用支援ロボット外
	電子カルテ更新整備	10.5	10.5	-	10.5	0.0	
	計	41.1	25.5	13.9	39.4	1.7	
安佐市民病院	施設整備	-	-	-	-	-	
	医療機器等購入	0.2	0.2	-	0.2	0.0	人事給与システム
	電子カルテ更新整備	9.4	9.4	-	9.4	0.0	
	計	9.6	9.6	-	9.6	0.0	
舟入市民病院	施設整備	2.0	0.2	1.4	1.6	0.4	本館7階サーバ室改修工事外
	医療機器等購入	3.3	2.7	-	2.7	0.6	画像保存通信システム外
	電子カルテ更新整備	4.9	4.9	-	4.9	0.0	
	計	10.2	7.8	1.4	9.2	1.0	
リハビリテーション病院	施設整備	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	PHS設備改修工事
	医療機器等購入	0.2	0.2	-	0.2	0.0	モジュラー車椅子外
	電子カルテ更新整備	-	-	-	-	-	
	計	0.5	0.2	0.3	0.5	0.0	
合計	施設整備	10.8	3.1	5.9	9.0	1.8	
	医療機器等購入	25.8	15.2	9.7	24.9	0.9	
	電子カルテ更新整備	24.8	24.8	-	24.8	0.0	
	計	61.4	43.1	15.6	58.7	2.7	

3 安佐市民病院の建替えについて

北部医療センター安佐市民病院について、4年度決算額は67.7億円で、整備費合計305.8億円で建替事業を完了した。

(図2) 整備スケジュール



(表9) 整備費の内訳

単位:億円

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	合計	
基本計画	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	
経費		-	-	-	-	0.5	7.7	8.2	
建替整備費	基本設計	-	1.3	-	-	-	-	1.3	
	工事監理等	-	0.5	0.4	1.4	1.1	1.0	0.1	4.5
	実施設計	-	-	3.1	-	0.1	0.1	-	3.3
	建設費	-	-	-	11.6	121.3	66.8	3.1	202.8
	土地購入費	-	-	-	9.7	-	9.5	-	19.2
	医療機器購入費	-	-	-	-	-	9.5	56.8	66.3
	-	1.8	3.5	22.7	122.5	86.9	60.0	297.4	
合計	0.2	1.8	3.5	22.7	122.5	87.4	67.7	305.8	

4 企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金の状況

企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金については、4年度中に安佐市民病院の建替えに係る整備費を含み76.7億円借入れ、29.6億円の償還を行ったため、4年度末の残高は545.6億円となり、3年度末残高から47.0億円増加した。

(表10) 企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金の推移

単位:億円

区分	3年度末残高 A	4年度中の借入・償還		4年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
		当期増加	当期減少		
広島市民病院	168.5	12.4	17.1	163.7	▲ 4.8
安佐市民病院	250.8	61.5	3.9	308.4	▲ 57.6
舟入市民病院	32.6	2.8	5.4	30.0	▲ 2.6
リハビリテーション病院	46.7	0.0	3.2	43.5	▲ 3.2
合計	498.6	76.7	29.6	545.6	47.0

5 留保資金の状況

留保資金は、3年度末残高は230.5億円であったが、4年度末残高は217.5億円となり、13億円減少した。

(表11) 4年度末留保資金の病院別内訳

単位:億円

区分	3年度末残高 A	4年度末残高 B	増 ▲ 減 B - A
広島市民病院	97.4	93.8	▲ 3.6
安佐市民病院	103.5	95.5	▲ 8.0
舟入市民病院	29.6	28.2	▲ 1.4
合計	230.5	217.5	▲ 13.0

資 料 編

1 各年度決算比較

(1) 収支の状況

(表1) 収支の推移

単位: 億円

区分		元年度	2年度	3年度	4年度
収 入	入院収入	367.4	343.8	358.7	366.1
	対前年度増減	-	▲ 23.6	14.9	7.4
	外来収入	166.3	154.0	165.9	173.7
	対前年度増減	-	▲ 12.3	11.9	7.8
	小計	533.7	497.8	524.6	539.8
	対前年度増減	-	▲ 35.9	26.8	15.2
	その他	11.1	9.4	9.0	8.8
	対前年度増減	-	▲ 1.7	▲ 0.4	▲ 0.2
	計	544.8	507.2	533.6	548.6
	運営費負担金・交付金	45.7	46.5	45.0	49.0
	対前年度増減	-	0.8	▲ 1.5	4.0
	その他収入	7.9	48.4	51.0	35.5
	対前年度増減	-	40.5	2.6	▲ 15.5
	合計	598.4	602.1	629.6	633.1
対前年度増減	-	3.7	27.5	3.5	
支 出	給与費	298.8	295.3	295.4	302.2
	対前年度増減	-	▲ 3.5	0.1	6.8
	材料費	177.8	171.0	182.4	189.5
	対前年度増減	-	▲ 6.8	11.4	7.1
	経費	73.2	72.0	77.5	90.6
	対前年度増減	-	▲ 1.2	5.5	13.1
	減価償却費	42.6	38.3	44.2	45.0
	対前年度増減	-	▲ 4.3	5.9	0.8
	その他	7.9	6.8	8.2	17.4
	対前年度増減	-	▲ 1.1	1.4	9.2
合計	600.3	583.4	607.7	644.7	
対前年度増減	-	▲ 16.9	24.3	37.0	
差引損益		▲ 1.9	18.7	21.9	▲ 11.6
対前年度増減		-	20.6	3.2	▲ 33.5

※ 「その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

(2) 収入の状況

(表2) 入院収入

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	211.9	199.7	205.6	208.7
対前年度増減	-	▲ 12.2	5.9	3.1
安佐市民病院	123.7	116.6	120.8	125.2
対前年度増減	-	▲ 7.1	4.2	4.4
舟入市民病院	15.9	12.6	16.5	16.6
対前年度増減	-	▲ 3.3	3.9	0.1
リハビリテーション病院	15.9	14.9	15.8	15.6
対前年度増減	-	▲ 1.0	0.9	▲ 0.2
計	367.4	343.8	358.7	366.1
対前年度増減	-	▲ 23.6	14.9	7.4

(表3) 病床利用率

単位:%

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	94.7	85.7	83.8	82.5
対前年度増減	-	▲ 9.0	▲ 1.9	▲ 1.3
安佐市民病院	87.7	72.7	73.5	83.3
対前年度増減	-	▲ 15.0	0.8	9.8
舟入市民病院	(73.4) 73.3	(51.0) 48.1	(52.5) 53.9	(55.0) 58.0
対前年度増減	-	(▲ 22.4) ▲ 25.2	(1.5) 5.8	(2.5) 4.1
リハビリテーション病院	95.3	89.4	93.8	91.2
対前年度増減	-	▲ 5.9	4.4	▲ 2.6

※ 舟入市民病院の()の数値は、内科・外科のみの数値

(表4) 入院患者数

単位:人

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	257,653	232,325	227,306	223,672
対前年度増減	-	▲ 25,328	▲ 5,019	▲ 3,634
安佐市民病院	169,152	139,825	141,348	131,970
対前年度増減	-	▲ 29,327	1,523	▲ 9,378
舟入市民病院	35,938	23,537	26,354	28,389
対前年度増減	-	▲ 12,401	2,817	2,035
リハビリテーション病院	34,877	32,639	34,253	33,293
対前年度増減	-	▲ 2,238	1,614	▲ 960
計	497,620	428,326	429,261	417,324
対前年度増減	-	▲ 69,294	935	▲ 11,937

(表5) 新規入院患者数

単位:人

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	21,317	19,050	19,458	19,782
対前年度増減	-	▲ 2,267	408	324
安佐市民病院	15,624	13,671	14,004	14,655
対前年度増減	-	▲ 1,953	333	651
舟入市民病院	4,178	2,823	3,548	3,530
対前年度増減	-	▲ 1,355	725	▲ 18
リハビリテーション病院	500	484	532	505
対前年度増減	-	▲ 16	48	▲ 27
計	41,619	36,028	37,542	38,472
対前年度増減	-	▲ 5,591	1,514	930

(表6) 平均在院日数

単位:日

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	11.1	11.2	10.7	10.3
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.5	▲ 0.4
安佐市民病院	9.8	9.2	9.1	8.0
対前年度増減	-	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 1.1
舟入市民病院	7.6	7.5	6.5	7.1
対前年度増減	-	▲ 0.1	▲ 1.0	0.6
リハビリテーション病院	75.2	70.4	68.3	72.3
対前年度増減	-	▲ 4.8	▲ 2.1	4.0

(表7) 入院単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	82,249	85,975	90,461	93,295
対前年度増減	-	3,726	4,486	2,834
安佐市民病院	73,155	83,415	85,478	94,940
対前年度増減	-	10,260	2,063	9,462
舟入市民病院	44,353	53,361	62,672	58,684
対前年度増減	-	9,008	9,311	▲ 3,988
リハビリテーション病院	45,742	45,551	46,241	46,774
対前年度増減	-	▲ 191	690	533

(表8) 手術件数

単位:件

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	10,301	9,412	9,587	9,953
対前年度増減	-	▲ 889	175	366
安佐市民病院	6,174	5,602	5,700	5,553
対前年度増減	-	▲ 572	98	▲ 147
舟入市民病院	560	323	315	459
対前年度増減	-	▲ 237	▲ 8	144
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	17,035	15,337	15,602	15,965
対前年度増減	-	▲ 1,698	265	363

※ 件数は、手術室で行った手術件数を集計

(表9) 救急患者数

単位:人

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	31,577	20,550	22,022	23,609
対前年度増減	-	▲ 11,027	1,472	1,587
安佐市民病院	11,348	9,916	10,927	12,853
対前年度増減	-	▲ 1,432	1,011	1,926
舟入市民病院	35,739	10,545	18,790	29,394
対前年度増減	-	▲ 25,194	8,245	10,604
リハビリテーション病院	-	-	-	-
対前年度増減	-	-	-	-
計	78,664	41,011	51,739	65,856
対前年度増減	-	▲ 37,653	10,728	14,117

(表10) 外来収入

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	103.2	96.9	101.8	107.8
対前年度増減	-	▲ 6.3	4.9	6.0
安佐市民病院	50.3	49.1	53.2	51.7
対前年度増減	-	▲ 1.2	4.1	▲ 1.5
舟入市民病院	11.9	7.2	10.1	13.4
対前年度増減	-	▲ 4.7	2.9	3.3
リハビリテーション病院	0.9	0.8	0.8	0.8
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.0	0.0
計	166.3	154.0	165.9	173.7
対前年度増減	-	▲ 12.3	11.9	7.8

(表11) 外来患者数

単位:人

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	432,758	378,292	387,366	392,534
対前年度増減	-	▲ 54,466	9,074	5,168
安佐市民病院	192,530	175,199	178,053	174,397
対前年度増減	-	▲ 17,331	2,854	▲ 3,656
舟入市民病院	83,241	45,777	57,704	68,354
対前年度増減	-	▲ 37,464	11,927	10,650
リハビリテーション病院	8,397	7,641	8,107	8,077
対前年度増減	-	▲ 756	466	▲ 30
計	716,926	606,909	631,230	643,362
対前年度増減	-	▲ 110,017	24,321	12,132

(表12) 外来単価/患者1人・1日当たり

単位:円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	23,834	25,622	26,274	27,464
対前年度増減	-	1,788	652	1,190
安佐市民病院	26,104	28,039	29,896	29,630
対前年度増減	-	1,935	1,857	▲ 266
舟入市民病院	14,348	15,830	17,547	19,525
対前年度増減	-	1,482	1,717	1,978
リハビリテーション病院	10,683	10,456	10,062	10,353
対前年度増減	-	▲ 227	▲ 394	291

(表13-1) 運営費負担金・交付金の推移(損益収支分)

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	18.6	23.7	19.4	16.1
対前年度増減	-	5.1	▲4.3	▲3.3
安佐市民病院	6.8	6.1	6.7	7.6
対前年度増減	-	▲0.7	0.6	0.9
舟入市民病院	13.3	8.4	11.2	10.9
対前年度増減	-	▲4.9	2.8	▲0.3
リハビリテーション病院	6.9	8.0	7.2	8.1
対前年度増減	-	1.1	▲0.8	0.9
計	45.6	46.2	44.5	42.7
対前年度増減	-	0.6	▲1.7	▲1.8

(表13-2) 運営費負担金・交付金の推移(資本収支分)

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
安佐市民病院	0.0	0.0	0.1	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.1	▲0.1
舟入市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
リハビリテーション病院	1.2	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	1.2	1.2	1.3	1.2
対前年度増減	-	0.0	0.1	▲0.1

(表14) 4年度運営費負担金・交付金の内訳

単位:億円

区分	合計	病院別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
1. 保健衛生行政(自立訓練施設分を含む)	3.2	0.1	0.2	0.7	2.2
2. 救急医療	14.6	9.0	2.9	2.7	-
3. 被爆者健診	0.1	-	-	0.1	-
4. 看護師養成	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0
5. 特殊医療(リハビリテーション等)	4.5	0.0	0.8	-	3.7
6. 小児医療	2.4	-	0.6	1.8	-
7. 院内保育	0.3	0.2	0.1	-	-
8. 企業債利息償還金	1.9	0.9	0.5	0.3	0.2
9. 医師等の研究研修に要する経費	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0
10. 経営研修に要する経費	0.0	0.0	0.0	-	-
11. 共済組合追加費用	0.8	0.4	0.3	0.1	-
12. 退職手当(交付金)	0.5	-	-	0.5	-
13. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分を除く)	13.6	5.0	1.9	4.7	2.0
計	42.7	16.1	7.6	10.9	8.1
14. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分)	1.2	-	-	-	1.2
計	1.2	-	0.0	-	1.2
合計	43.9	16.1	7.6	10.9	9.3

区分	合計	病院別			
		広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
16. 安佐市民病院北館準備調整に係る経費	0.6	-	0.6	-	-
17. 安佐市民病院北館整備事業	20.1	-	20.1	-	-
18. 安佐市民病院南館の解体	5.6	-	5.6	-	-
合計	26.3	-	26.3	-	-

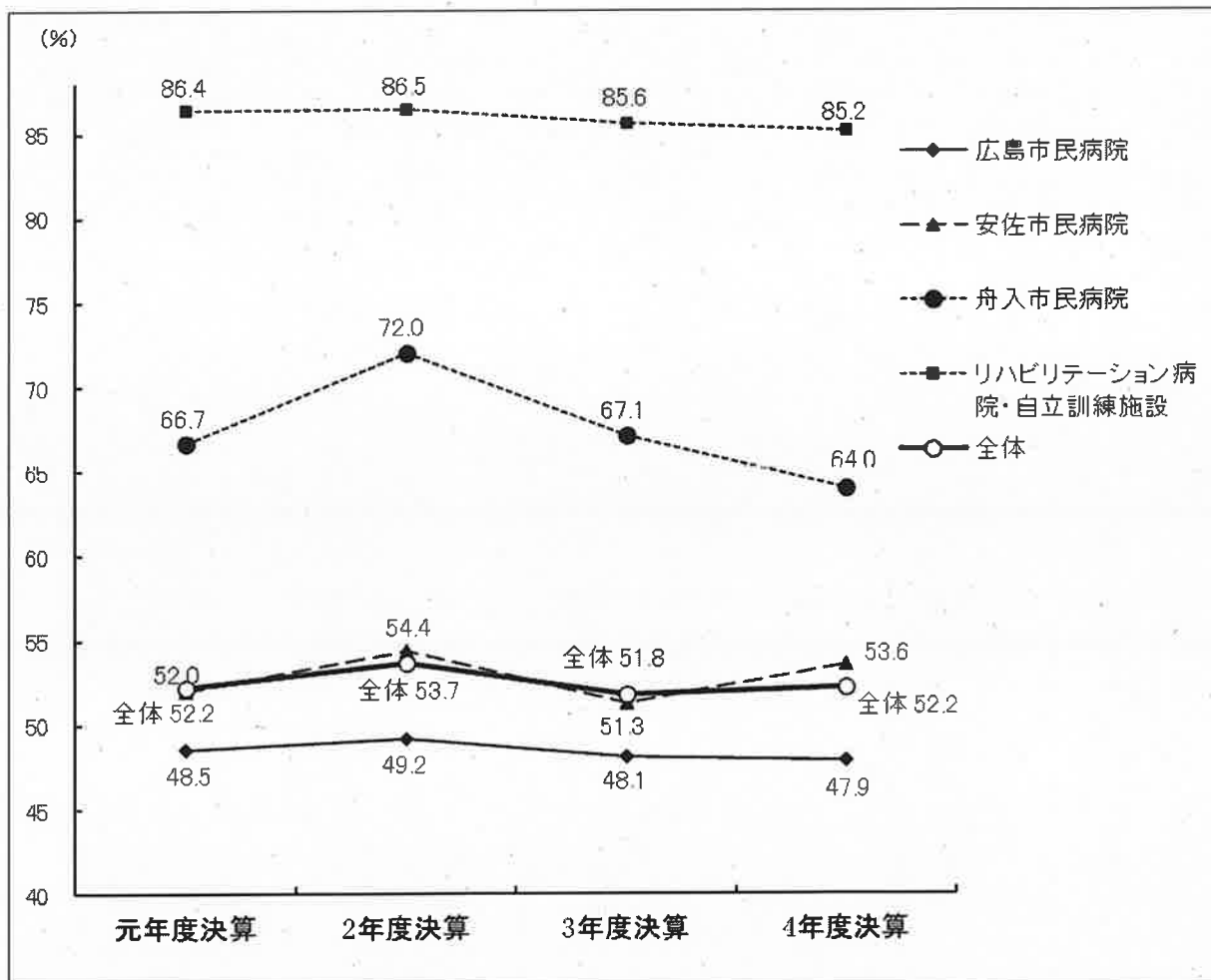
(3) 支出の状況

(表15) 給与費

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	161.5	157.8	158.3	159.5
対前年度増減	-	▲ 3.7	0.5	1.2
安佐市民病院	94.1	94.7	94.2	99.5
対前年度増減	-	0.6	▲ 0.5	5.3
舟入市民病院	24.7	24.6	24.1	23.8
対前年度増減	-	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 0.3
リハビリテーション病院	18.5	18.2	18.8	19.4
対前年度増減	-	▲ 0.3	0.6	0.6
計	298.8	295.3	295.4	302.2
対前年度増減	-	▲ 3.5	0.1	6.8

(図1) 給与費対医業収益等比率



注 給与費対医業収益等比率=(給与費/(医業収益+営業収益運営費負担金・交付金(企業債元金償還分を除く)))×100
 なお2年度、3年度及び4年度は、繰入対象部門に配分した新型コロナウイルス感染症対応に係る空床確保補助金を加算した。

※ 本部事務局分の給与費は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分し、各病院に加算している。

(表16) 給与費の推移-職種別

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
医師	67.4	66.9	68.6	68.9
対前年度増減	-	▲ 0.5	1.7	0.3
看護師	128.4	125.5	123.7	125.9
対前年度増減	-	▲ 2.9	▲ 1.8	2.2
医療技術職	38.5	38.3	38.8	40.6
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.5	1.8
事務	9.5	9.4	9.4	9.5
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.0	0.1
業務員	1.2	1.4	1.4	1.5
対前年度増減	-	0.2	0.0	0.1
嘱託・臨時	43.3	43.6	42.6	44.7
対前年度増減	-	0.3	▲ 1.0	2.1

(表17) 正規職員数の推移

単位:人

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
医師	342	330	344	343
対前年度増減	-	▲ 12	14	▲ 1
看護師	1,500	1,486	1,427	1,421
対前年度増減	-	▲ 14	▲ 59	▲ 6
医療技術職	531	525	536	554
対前年度増減	-	▲ 6	11	18
事務	119	117	120	121
対前年度増減	-	▲ 2	3	1
業務員	20	20	21	22
対前年度増減	-	0	1	1
計	2,512	2,478	2,448	2,461
対前年度増減	-	▲ 34	▲ 30	13

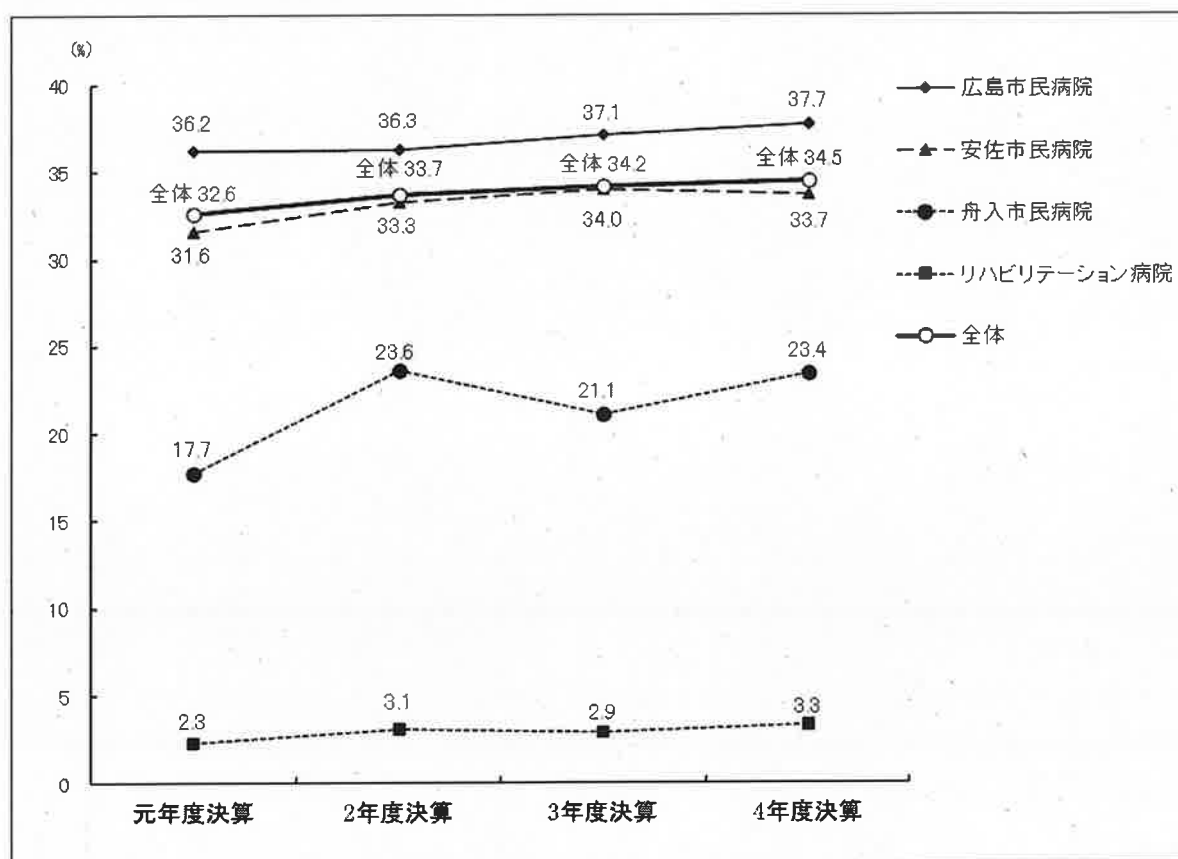
※ 職員数は各月の給与支給人員の平均

(表18) 材料費

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	116.4	109.7	116.2	121.1
対前年度増減	-	▲ 6.7	6.5	4.9
安佐市民病院	55.7	55.8	59.9	60.5
対前年度増減	-	0.1	4.1	0.6
舟入市民病院	5.3	5.0	5.8	7.3
対前年度増減	-	▲ 0.3	0.8	1.5
リハビリテーション病院	0.4	0.5	0.5	0.6
対前年度増減	-	0.1	0.0	0.1
計	177.8	171.0	182.4	189.5
対前年度増減	-	▲ 6.8	11.4	7.1

(図2) 材料費対医業収益比率



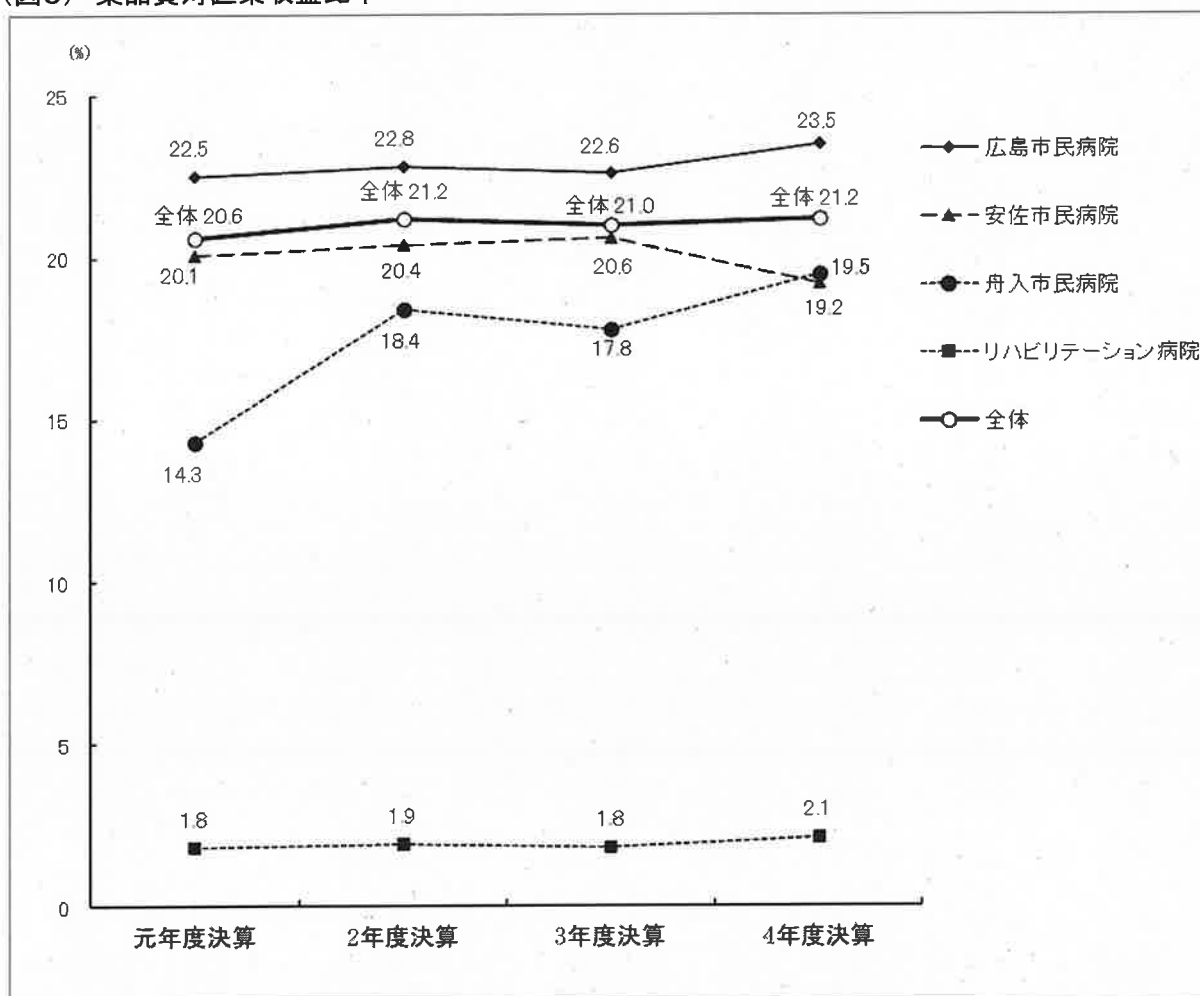
注 材料費対医業収益比率=[材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

(表19) 材料費のうち薬品費

単位:億円

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	72.2	69.1	70.8	75.4
対前年度増減	-	▲ 3.1	1.7	4.6
安佐市民病院	35.4	34.1	36.3	34.4
対前年度増減	-	▲ 1.3	2.2	▲ 1.9
舟入市民病院	4.3	3.9	4.9	6.1
対前年度増減	-	▲ 0.4	1.0	1.2
リハビリテーション病院	0.3	0.3	0.3	0.4
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.1
計	112.2	107.4	112.3	116.3
対前年度増減	-	▲ 4.8	4.9	4.0

(図3) 薬品費対医業収益比率



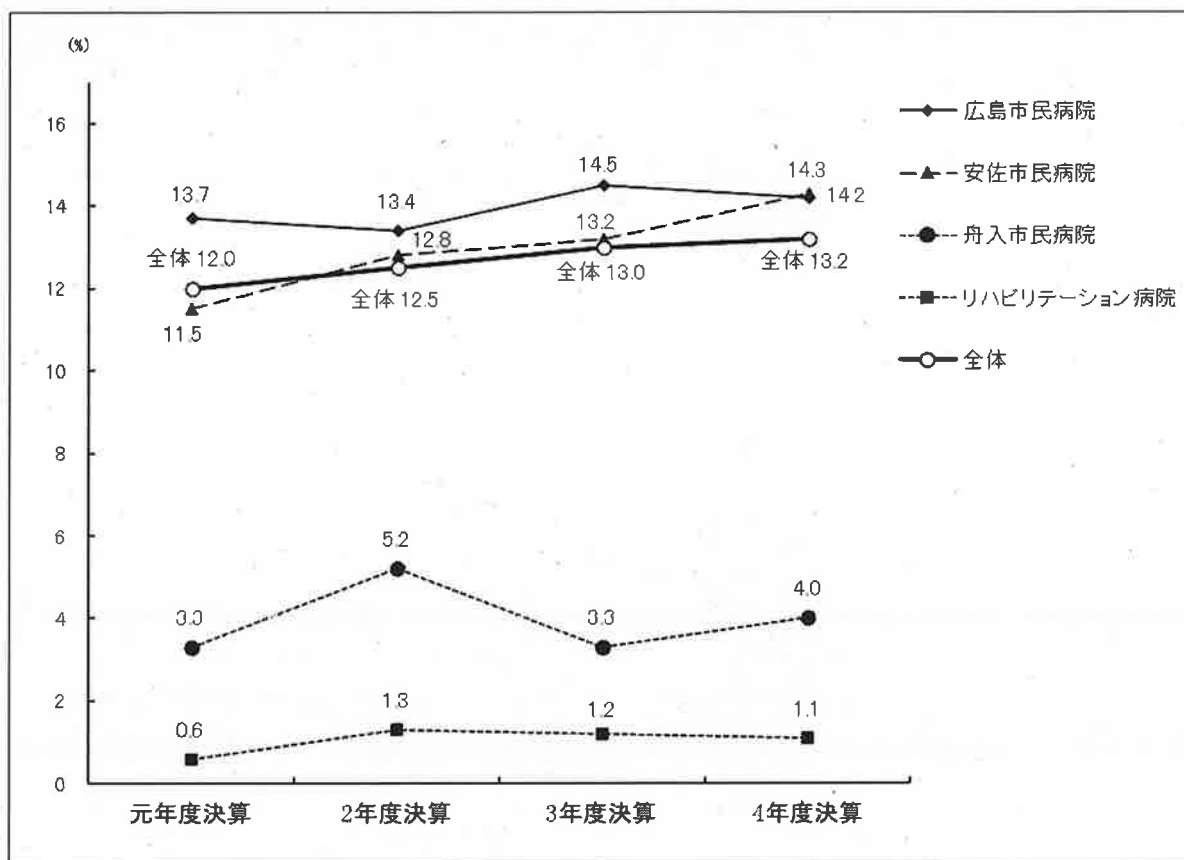
注 薬品費対医業収益比率=[薬品費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

(表20) 材料費のうち診療材料費

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	44.1	40.5	45.3	45.5
対前年度増減	-	▲ 3.6	4.8	0.2
安佐市民病院	20.2	21.5	23.2	25.7
対前年度増減	-	1.3	1.7	2.5
舟入市民病院	1.0	1.1	0.9	1.2
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.2	0.3
リハビリテーション病院	0.1	0.2	0.2	0.2
対前年度増減	-	0.1	0.0	0.0
計	65.4	63.3	69.6	72.6
対前年度増減	-	▲ 2.1	6.3	3.0

(図4) 診療材料費対医業収益比率



注 診療材料費対医業収益比率＝〔診療材料費/医業収益(入院収入＋外来収入＋その他医業収入)〕×100

※ 材料費の内訳として主なものを記載しており、この他に、給食材料費、医療消耗備品費があることから内訳の合計額は、材料費の決算額とは一致しない。

(表21) 経費

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	38.2	37.5	39.3	42.0
対前年度増減	-	▲ 0.7	1.8	2.7
安佐市民病院	21.4	21.2	23.9	33.1
対前年度増減	-	▲ 0.2	2.7	9.2
舟入市民病院	8.7	8.6	9.4	10.2
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.8	0.8
リハビリテーション病院	4.9	4.7	4.9	5.3
対前年度増減	-	▲ 0.2	0.2	0.4
計	73.2	72.0	77.5	90.6
対前年度増減	-	▲ 1.2	5.5	13.1

(表22) 減価償却費

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	25.5	23.6	21.6	19.5
対前年度増減	-	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 2.1
安佐市民病院	11.2	9.3	17.9	21.4
対前年度増減	-	▲ 1.9	8.6	3.5
舟入市民病院	3.7	3.2	2.5	2.3
対前年度増減	-	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.2
リハビリテーション病院	2.2	2.2	2.2	1.8
対前年度増減	-	0.0	0.0	▲ 0.4
計	42.6	38.3	44.2	45.0
対前年度増減	-	▲ 4.3	5.9	0.8

(表23) その他の支出

ア 費目別

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
資産減耗費	0.2	0.3	0.2	1.6
対前年度増減	-	0.1	▲ 0.1	1.4
過年度損益修正損	1.3	1.0	1.4	0.9
対前年度増減	-	▲ 0.3	0.4	▲ 0.5
長期借入金・移行前地方債利息	4.8	4.5	4.6	5.0
対前年度増減	-	▲ 0.3	0.1	0.4
その他	1.6	1.0	2.0	9.9
対前年度増減	-	▲ 0.6	1.0	7.9
計	7.9	6.8	8.2	17.4
対前年度増減	-	▲ 1.1	1.4	9.2

(表23) その他支出 病院別

イ 病院別

単位:億円

区分	元年度	2年度	3年度	4年度
広島市民病院	5.5	4.6	4.4	4.1
対前年度増減	-	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 0.3
安佐市民病院	0.9	0.9	2.1	11.7
対前年度増減	-	0.0	1.2	9.6
舟入市民病院	0.9	0.8	1.1	1.1
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.3	0.0
リハビリテーション病院	0.6	0.5	0.6	0.5
対前年度増減	-	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1
計	7.9	6.8	8.2	17.4
対前年度増減	-	▲ 1.1	1.1	9.2